



楠隼中学校・高校だより

全国から生徒が集う全寮制中高一貫教育校

中学校
高校

文化祭を開催しました

6月18日、令和4年度文化祭を実施しました。今回のテーマは、『七転び八起き〜Never give up』。「コロナとの戦いが続く日々だが、開校8年目を迎える本校に更なる勢いが付くような、工夫を凝らした活気溢れる文化祭にしたい」という思いで生徒会執行部が設定しました。今回も、新型コロナウイルス感染症対策として、映像や展示を主とした内容、生徒・職員のみでの参加、保護者の方は後日視聴の形をとりました。昨年度からのこの形式に生徒たちも慣れてきたのか、短い準備期間のなかでも見通しを立て、協力しながら準備するという嬉しい姿が見られました。映像部門では、



撮影も編集も自分たちで行い、パロディ等、ユーモア溢れる映像に仕上げられており、上映時だけでなく、製作段階でも楽しんで準備していた様子が伺えました。展示部門では、初めて「文化祭」というものを経験する中学1年生も多様な作品を作り上げ、高校生の作品のクオリティに感嘆する、中高一貫ならではの光景が見られました。オープニングでは、音楽部とALTのダニエル先生による、「It's my life」の演奏があり、校内全体が盛り上がり一気に文化祭本番という雰囲気になりました。各クラス、学年の映像作品は、今年度も観賞場所を分散しての観賞になりましたが、どの作品も素晴らしく各会場からの歓声が聞こえてきました。高校3年生はクラスごとにオリジナルのドラマを製作し、笑いあり感動ありの作品になっていました。高校

2年生がクラスごとに取り組んだ質の高い展示作品には大行列ができており、活気ある文化祭らしいひとコマを見ることができました。高校1年生の映像作品はユニークな着眼点の物語で、他学年の生徒たちからも好評な作品でした。高校1年生は映像だけでなく顔出しパネルの展示作品も発表していました。

どの団体も様々な制限がある中で精一杯の作品を仕上げ、まさにテーマどおり『七転び八起き〜Never give up』の精神で素晴らしい文化祭にしてくれました。

